



# 学校の詩

[校長コラム]

令和2年 3月12日  
大野城市立御陵中学校  
校長 藤井 浩彦

## 3年生へ伝えたいこと・・・

いよいよ、卒業証書授与式（以下、「卒業式」）を迎えます。私は、卒業式を迎えるにあたり、いつも3年生に次のことを伝えていました。

卒業式で、あなたたちが特に頑張ることは、「態度」「呼名のときの返事」「歌」、この3つです。全員の態度・礼儀はもちろんですが、歌も大事です。心を込めてしっかりと歌ってほしいと思います。中でも一人一人が主役になる場面は「卒業生呼名」のときです。そう、自分の名前を呼ばれて「はい！」という瞬間です。担任の先生方が、あなたたち一人一人の名前を心を込めて呼びます。皆さんの名前は、きっと多くの方の願いが込められた大切な名前です。その大切な大切な名前を呼ばれたときの「はい!」、たった2文字のわずかな言葉の中に15年分の感謝や思い、成長が伝わるものにしてほしいのです。

あなたたちがこの世に生を受けたとき、親はどれだけ喜んだことでしょうか。もちろん親だけではありません。たくさんの方が、あなたたちが生まれてきたことを心から喜んだのです。かけがえのないたった一つの「命」の誕生に感動したのです。それからあなたたちは、多くの人たちと出会い、支えられ、助けられ、ここまで生きてきたのです。もちろん苦しいこと、きついこともたくさんあったでしょう。それらを乗り越え成長し、今があるのです。

まず、保護者の方への「感謝」を伝えてください。あなたたちにどんなことがあろうとも溢れる愛でいつも包んでくれた保護者の方に、「今まで育ててくれて、大きな愛で包んでくれてありがとう!」という気持ちを「はい!」という一言に込めてほしいのです。そして、「ここまで成長したよ」「小さいときは、いっぱい迷惑かけたね」「病気で心配かけたね」「中学校になってからは反抗ばかりしたね。でも俺、たくさん叱ってもらったおかげで、こんなにも成長したよ」「私、あまりしゃべるのは苦手だけど、こんなにしっかりした返事ができるよ」・・・そんな成長を「はい!」の2文字に込めてほしい。さらに、「私、これから高校行って、またしっかり勉強して人の役に立つ立派な人間になるね!」「僕の夢である〇〇に向かって、もっともっと頑張るからね!」など、思いや決意を「はい!」に込めてほしい。

親は、保護者の方は、あなたたちの精一杯の「はい!」に感動します。あなたたちが直接「ありがとう」と言わなくても、あなたたちの精一杯の「はい!」を聞くだけで、「生まれてきてくれてありがとう。」「あなたの親でいられて本当によかった」・・・そう思えるのです。だから、あなたたちに精一杯の「はい!」を言ってほしい。一人一人が自分の全力で言ってほしい。思いは必ず伝わります。ですから、素晴らしい卒業式にするためにも「はい!」に精一杯の思いを込めてほしい。後ろにいらっしゃる保護者に「15年分の思い」を伝えてほしい・・・

いつもなら、在校生と先生方で一緒に準備する卒業式。今年度は状況が変わりました。先生方は、3年生の皆さんの卒業式が素晴らしいものになるように、毎日一生懸命準備をしています。体育館の掃除、シート敷き、椅子の準備、教室、廊下、トイレの掃除、飾り付け、立て看板の準備・・・黙々と準備しています。限られた時間の中で、心に残る卒業式、そして思い出深い学級活動の時間になるようにと、知恵を出し合い、協力し合い準備されています。とにかく、手づくりのあったかい卒業式にしよう!と声を掛け合って取り組まれています。3年生の皆さんには、先生方への感謝の気持ちも忘れないでほしいと思います。

明日9時30分より、「第37回卒業証書授与式」です。3年生は中学生として、最後の登校となります。3年生の皆さん、そして皆さんを温かく見守ってくださっているすべての人たちにとって、素敵な一日となることを心から願っています。